

会 議 記 録

作成部局課名 真田地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 20年 9月 25日(木)	開催時刻	19時 00分から 21時 00分
会議名	真田地域協議会（平成 20年度 第 6 回）		
出席委員	清水会長・佐藤副会長・一本鎗委員・上原委員・内海委員・荻原委員 小林委員・坂口委員・清水委員・下条委員・関委員・田中委員・中沢委員 花岡委員・前沢委員・宮下委員・横沢委員		
欠席委員	桑田委員・塩沢委員・鈴木委員		
市側出席者	小市センター長・センター全課長 地域交通政策課 田中地域交通係長 渡辺地域振興課長・塚田地域政策係長・武捨主査・宮島主査		
傍聴者	1 名		
協 議 事 項 等			
<p>1 開会(佐藤副会長)</p> <p>2 会長あいさつ(清水会長)</p> <p>3 センター長あいさつ(小市センター長)</p> <p>4 会議事項</p> <p>(1)公共交通活性化プランアンケート 結果について(担当課:地域交通政策課)</p> <p>【説明要旨】</p> <p>～ アンケート結果について(報告)～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 地域協議会におけるアンケート結果の集計 ・ 資料 平成 20年度上田市公共交通総合連携計画実施事業(真田地域協議会) <p>【主な質疑・応答】</p> <p>(委員)公共交通活性化プランについては、膨大な意見が寄せられている。それらに対して行政の見地から実現が可能なのかを示す必要があるのではないかと。</p> <p>土・日曜日に運行してもらいたいという意見があるが、その対象となる集落等に対して、実際に利用するか、しないかのアンケートをモデル的に取ることも必要ではないかと。ノーマイカーデーを実施した場合にしても、住民の皆さんが実際にどうするかを把握することが大事である。そのような分析が大切ではないかと。</p> <p>(地域交通係長)財政的にも、寄せられた要望や意見を全て実施することはできませんが、小さなことでも改善点であれば検討したいと考えています。281 ものご意見をいただいていますので、確かに検討しきれていない部分もあります。1年半～2年をかけて施策を展開していく上で、これらの意見を参考にしたいと考えています。</p> <p>土・日曜日のバス運行については、財源的な問題や利用実態に併せた中で、現在の運行本数になった経過があります。土・日曜日は会社が休みになるので家用車で送り迎えが可能になることなど、様々な住民のニーズに合った対応が必要になると思います。</p>			

ノーマイカーデーについては、どれだけ多くの皆さんにご協力いただけるかが問題です。それには公共交通を使うメリットをPRしていきながら、さらに使用する際に割引をするなど金銭的なメリットも組み合わせていかなければ、難しいのではないのでしょうか。

今年度の後半から国土交通省の支援を受け、別所線沿線でバスも含めた「モビリティ・マネジメント」というノーマイカーデー的な公共交通の乗り換えをどうしたらよいかという具体的なモデルケースを実施することになっています。これを他の地区に普及させるような研究をしながら施策を進めていきたいと考えています。

施策を進めていく上では、公共交通事業者の立場からのご意見もありますし、企業にしても公共交通を使うことによって通勤費として金銭的な出費も多くなるといった課題も生じてきます。しかしながら、何と言っても皆さんが意識改革をすることがとても難しい問題かと思えます。

(委員)土・日曜日の運行については、事業的に無理なことは分かっている。一般論ではなく、集落等から客観的な情報をつかんでもらいたいという手法のことを提起した。

(委員)意識改革が大事である。企業でもノーマイカーデーを行って意識改革を進めているが、社員に浸透させるのは難しい。行政はどのように住民の意識改革についてアピールしていくのか。

(地域交通係長)県内各地では、バス路線の廃止・撤退が問題となっていることから、県では県民会議・県民大会等のイベントを開催しています。

市でもできるだけ多くの住民の皆さんにPRを行い、さらに意識改革につながるような講演会等を実施できたらと思っています。乗って残さないと、無くなってしまうという危機感を持っていただくことが大切かと考えます。

(委員)企業にはさらにアピールするとともに、企業とタイアップした事業をしてほしい。

(委員)市で行っている男女共同参画運動は、企業に浸透している。一般論ではなく、このような例を参考にした具体的な取り組みが大事だ。

(委員)高校生のバス通学についてですが、保護者や高校生からもっと具体的に意見を聞いてもらいたい。親が学校に送り迎えしている現状はいかがなものか。

(地域交通係長)この活性化プラン策定前、全バス路線の状況調査を行い、どこのバス停で何人乗車するのかといった調査を行いました。実際にバスに乗車する方(学生も含めて)にアンケート調査も実施した中でこのプランを策定しています。また、検討会委員には高校の校長会にも入っていただいています。特に高校の部活帰りに対応した運行の要望がありましたので、今回ダイヤ調整を行っていただきました。ダイヤ改正や増便を要望するにしても、多くの人にバスを利用していただくことが前提になります。

(委員)子ども達の意識改革が必要になる。仕事を終えた大人が送り迎えしているのではおかしい。それにはバスが運行されていなければ困る。

(地域交通係長)今まで上田地域の循環バスは、学生には使いにくいという面がありましたので、運行形態やバス停についても若干見直しを行いました。この循環バスも含めて、

今後も多く的高校生に利用していただけるように検討していきます。

(2)わがまち魅力アップ応援事業審査について(地域振興課)

- ・審査方法の確認について
- ・審査

ア 個性あるふるさとづくり応援事業

提案事業 自然と文化の地域資源を活かした、活気あふれる集落づくり事業
(傍陽中組自治会)

〔事業概要〕

集落内の里山の荒廃地を解消するため遊歩道の整備を進め、作業参加により集落の一体感の醸成を図る。また、遊歩道を利用したイベントを開催することにより地域内の交流を深め、活気あふれ世代を問わず一体感のある集落づくりを行う。

〔事業費等〕

1年目 総事業費 347,000円 申請補助金額 300,000円

【主な質疑・回答】

無し

イ 特色あるまちづくり応援事業

提案事業 滝と森林浴の遊歩道整備(滝と森林浴の遊歩道整備委員会)

〔事業概要〕

年齢を問わず誰もが気軽に菅平高原の豊かな自然環境に親しみながら、快適に散策を楽しめる遊歩道を整備する。整備後には、こころと身体の健康づくりに活かすとともに、ウォーキングイベント等を開催し、地域の新たな魅力づくりを行う。

〔事業費等〕

1年目 総事業費 360,000円 申請補助金額 350,000円
(来年度申請見込額 650,000円)

【主な質疑・回答】

(委員) 整備する総延長はどのくらいですか。

(説明者) 菅平処理場から県道菅平高原線まで約1.8kmを整備し、その先は下草刈りをして牧場まで行けるようにします。将来的には、牧場からダボスまでをつなげるよう計画しています。

提案事業 アルプスを眺めながら のんびりクロスカントリー
(菅平高原スキークラブ)

〔事業概要〕

根子岳中腹を会場に、初心者から楽しめるクロスカントリーイベントを開催し、冬山での自然とふれあう機会を提供することをおして、冬の菅平高原の魅力を発信する。

〔事業費等〕

1年目 総事業費 650,000円 申請補助金額 500,000円

(来年度申請見込額 500,000円)

【主な質疑・回答】

(委員)一般の市民には、どのようにPRしていくのか。

(説明者)ノルディックスキーの関係者、また、さなだスポーツクラブ等に参加を求めたい。

(委員)このイベントの運営に当たるのは何人ぐらいか。

(説明者)20名位と考えています。

(委員)安全面をどう考えているのか。

(説明者)悪天候の場合には無理はせず、牧場等で遊んでいただくような計画です。

スキークラブの者が参加者と一緒に行動しますし、危険な箇所には人を配置するなどして安全面については特に注意を払います。

(委員)20・21年度に実施する計画ですが、22年度以降はどうなるのか。

(説明者)この2年で実績をつくり、23年度以降は自主運営できるようにしたいと考えています。

(委員)参加人数はもう少し増やせますか。

(説明者)参加者は30名を予定していますが、参加人数の増えた場合については、運営に当たる人数を増やす等して調整を行います。

～ 審査表の回収・まとめ ～ (事務局)

(3)真田地域における図書館施設の整備に関する意見書に対する回答について

(担当課:真田教育事務所)

【説明要旨】

～ 市の回答内容 ～

(一部抜粋)真田地域における図書館施設の整備にあたっては、地域協議会からの御意見を尊重するとともに、引き続き地域の声をお聞きしながら「地域の特色を活かした個性ある図書館」、「市民との協働による地域に根ざした図書館」を整備方針に、多くの市民に利用される運営面の検討を進め、施設整備をしままいりますので、よろしく御理解、御協力をお願い申し上げます。

～ 真田図書館建設運営研究会について ～

(真田教育事務所長)第1回の真田図書館建設運営研究会の開催後、第2回の研究会(821)では、原村図書館を視察し、帰庁後に話し合いを行いました。研究会では施設の配置等について検討が行われております。さらにシルバー人材センター事務所の位置にどのように施設を設けることができるのかについて、市の建築課、地域自治センター建設課が測量等を行っているところです。12月議会には、実施設計と地域自治センターの耐震診断(図書館と地域自治センターを接続するため)に係る補正予算を計上するよう計画を進めています。

今後、10月中旬以降に予定されている実施計画の理事者査定が行われた後、もう

少し詳細な予定を協議会にお示しできると思います。早期に整備を進めていくとする協議会の意向を踏まえ、21年度の秋に着工し、22年度の10月頃までには完成できればと進めているところです。

【主な質疑・応答】

(委員) まちづくり市民懇談会の資料には、市全体の図書館建設予算が33億円とあった。

その内訳を示せるものであれば教えてもらいたい。

(真田教育事務所長) 内訳については決まっています。

(委員) 研究会に期待しているところですが、図書館を運営していくための勉強会を作ってほしいと聞いているが。

(真田教育事務所長) 第3回の研究会以降では、地域の図書館として、どうしたら多くの人に図書館を利用していただけるのか、また、地域住民がボランティアとしてどのように図書館に関わって運営していくのかなどを検討していきます。

さらに、市全体の図書館整備構想を尊重ながら、上田市全体の図書館の連携についても検討していく必要があると考えています。

(4) その他

わがまち魅力アップ応援事業の選考調書の集計結果の報告(事務局)

ア 特色あるまちづくり応援事業

- ・自然と文化の地域資源を活かした、活気あふれる集落づくり事業(傍陽中組自治会)

審査結果 大きな問題点の指摘なし

イ 特色あるまちづくり応援事業

- ・滝と森林浴の遊歩道整備(遊歩道整備実行委員会)
- ・アルプスを眺めながらのんびりクロスカントリー(菅平高原スキークラブ)

審査結果 両事業とも選考基準の20点以上 大きな問題点の指摘なし

(会長) 集計結果のとおりです。3事業については協議会として採択とする意見を市に述べたいがよろしいでしょうか。

(全委員) 賛成

5 その他

- ・次回の開催について(事務局)

(副会長) それではグループ協議に入ります。

6 閉会(佐藤副会長)

(事務局) 9時を目途に、終了したグループ毎に閉会するのはいかがでしょうか。

(副会長) グループ毎に閉会としてください。